

## 大学修正案（資料2）に対する検討資料

頁		大 学 修 正 案	再 修 正 案 , コ メ ン ト 等
3	中期 計画	<p>(イ) 共通教育 現代の社会人に必要な国際コミュニケーション能力や情報処理能力、健康で豊かな人間性を持つ人材を養成するとともに、専門教育を受けるために必要な基礎科学力の底上げを図る。そのための教育支援組織として、共通教育センターを設置する。</p>	<p>(イ) 共通教育・再修正案 共通教育を支援する「共通教育センター」を設置し、現代の社会人に必要な国際コミュニケーション能力、情報処理能力及び健康で豊かな人間性を養う教育を行うとともに、専門教育を受けるために必要な基礎科学力を底上げする。 [修正理由] 文言の整理等。 「共通教育センターの設置」は「目的」ではなく「手段」として記載。 「…人材を養成する」は中期目標であって、中期計画にはその達成のための手段を記載すべきであるから、「…を養う教育を行う」に修正。</p>
4	中期 目標  中期 計画  中期 目標	<p>(ロ) 専門教育</p> <p>[看護学部] 科学的知識と高い看護技術、豊かな人間性を持った看護職を養成する。</p> <p>[看護学部] 科学的知識と高い看護技術、豊かな人間性を持った看護職を養成するため、「共通教育科目」、「専門基礎科目」、及び「専門科目」の連動性と順序性を重視し、特に「専門基礎科目」と「専門科目」の教育内容の精選によるカリキュラムの体系化を行うとともに保健医療の変化や社会的ニーズに対応した教育を行うため、実習を含めた社会的ニーズの高い科目の必修化や新設を図るなどのカリキュラム改革を実施する。</p> <p>[事業構想学部] 技術のわかる事業者・事業のわかる技術者として、各種事業を総合的にプロデュースでき、地域社会において即戦力となる産業人を養成する。</p>	<p>(ロ) 専門教育</p> <p>[看護学部] 再修正案 科学的知識、高い看護技術、豊かな人間性を持ち、地域社会の保健医療分野において即戦力となる人材を養成する。 [修正理由] 三学部の表現を統一。「…において即戦力となる人材を養成する。」</p> <p>[看護学部] コメント 「科学的知識と…を養成するため、」 中期目標の記載内容なので削除。 「連動性と順序性を重視」 意味が不明確。(修正例)「相互関連性に配慮し」 「教育内容の精選によるカリキュラムの体系化」 意味が不明確。より具体的な記載が必要。 「保健医療の変化や社会的ニーズに対応した教育を行うため、実習を含めた社会的ニーズの高い科目の必修化や新設…」 表現の重複があるため、次のように修正。 (修正案):「実習等を含め、保健医療の変化や社会的ニーズに対応した科目の必修化や新設…」</p> <p>[事業構想学部] 再修正案 技術の分かる事業者・事業の分かる技術者として、各種事業を総合的にプロデュースでき、地域社会において即戦力となる人材を養成する [修正理由] 三学部の表現を統一。「…人材を養成」</p>

頁	大 学 修 正 案	再 修 正 案 , コ メ ン ト 等
	<p>〔事業構想学部〕 技術のわかる事業者・事業のわかる技術者として、各種事業を総合的にプロデュースでき、金融、流通、サービス業を中心とした、地域社会において即戦力となる産業人を養成するため、事業計画系、デザイン系、情報系の「文理融合」(サイエンスとアートの融合)を基本として、基礎ゼミから総合研究、卒業研究に至る少人数教育の体系化、インターンシップ科目の拡大、経営・起業科目や英語科目、会計科目、コンピュータ科目の充実などのカリキュラム改革を実施する。</p>	<p>〔事業構想学部〕 コメント 「技術のわかる事業者・・・を養成するため、」 中期目標の記載内容なので削除。 「少人数教育の体系化」 意味が不明瞭。より具体的な記載が必要。 「経営・起業科目や英語科目、会計科目、コンピュータ科目の充実」 意味が不明瞭。より具体的な記載が必要。</p>
4	<p>〔食産業学部〕 地域及び国際的な食産業の場において、即戦力となる優秀な人材を養成する。</p>	<p>〔食産業学部〕 再修正案 食材の生産、食品の製造・流通・消費及びリサイクル等について幅広い科学的知識と技術を持ち、ビジネス感覚に富んだ、地域社会において即戦力となる人材を養成する。 〔修正理由〕 「食産業の場」・「優秀な人材」について、より具体的に説明。</p>
4 5	<p>〔食産業学部〕 地域及び国際的な食産業の場において、即戦力となる人材を養成するため、農畜産業や食品産業、さらには環境との共生・保全までも含む食産業の実態に的確に対応できるよう、生物・化学・工学系の技術力と経済・経営系の管理力を一層融合させるとともに、農場実習やケースメソッドさらには全学科必修インターンシップなど実践的手法をより充実させた「文理融合型」のカリキュラム改革を実施する。</p>	<p>〔食産業学部〕 再修正案 食材の生産、食品の製造・流通・消費及びリサイクル等幅広い「食産業」の実態に的確に対応できる技術力と管理力を十分に修得できるよう、生物・化学・工学系の科目と経済・経営系の科目を的確に組み合わせるとともに、農場実習やケースメソッド、全学科必修インターンシップなど実践的手法をより充実させた「文理融合型」のカリキュラム改革を実施する。 〔修正理由〕 「地域及び・・・を養成するため、」 中期目標の記載内容なので削除。 「農畜産業や食品産業、さらには環境との共生・保全までも含む食産業の実態」 中期目標の表現に合わせた。 文言の整理等</p>
5	<p>〔看護学研究科〕 地域現場の課題に対応できる知識・技術及び管理能力・研究能力を持つ高度専門職業人を養成するとともに、自立的な研究能力を持つ高度専門職業人や研究者・教育者を養成する。</p>	<p>〔看護学研究科〕 再修正案 地域現場の課題に対応できる知識・技術及び管理能力・研究能力を持ち、高度な実践を行う専門看護師を養成するとともに、自立的な研究能力を持つ高度専門職業人や研究者・教育者を養成する。 〔修正理由〕 前段・後段に「・・・研究能力を持つ高度専門職業人(の養成)」という表現の重複があるため、文言を修正・整理。</p>

頁		大 学 修 正 案	再 修 正 案 , コ メ ン ト 等
	中期 計画	<p>〔看護学研究科〕  <u>高度専門職業人養成の一環として</u>、修士課程に「専門看護師コース」(地域保健看護分野，小児発達看護分野，感染看護分野)をおき，専門共通科目に「看護理論」，「コンサルテーション論」，「看護倫理」，「看護政策論」を、専門科目に実習や課題研究等を開設する。</p> <p>看護学分野において自立的研究能力を持つ高度専門職業人や研究者・大学教員を養成するため，博士課程を新設する。</p>	<p>〔看護学研究科〕 再修正案  <u>修士課程に「専門看護師コース」(地域保健看護分野，小児発達看護分野，感染看護分野)を設置するとともに</u>，専門共通科目に「看護理論」，「コンサルテーション論」，「看護倫理」，「看護政策論」を、専門科目に実習や課題研究等を開設する。  [修正理由] 文言の整理</p> <p>修正なし。</p>
5 6	中期 計画	<p>〔事業構想学研究科〕  <u>博士前期課程では，高度専門職業人や専門的な研究能力を有する者を養成するため</u>，「高度職業人育成コース」及び「学術研究コース」の履修モデルを設け、ビジネスプラン・地域プラン及び空間デザイン・情報デザインの<u>高度に専門的な知識や技術を修得させる。</u></p> <p>博士後期課程では，<u>プロジェクトマネージャー及び専門的教育・研究者を養成するため</u>，事業の構想・創出について自立的研究能力を修得させる。</p>	<p>〔事業構想学研究科〕 再修正案  <u>博士前期課程では，「高度職業人育成コース」及び「学術研究コース」の履修モデルを明確に示し，ビジネスプラン・地域プラン及び空間デザイン・情報デザインに関する専門的な知識や技術を修得させる。</u>  [修正理由]  「高度専門職業人…養成するため」 中期目標の記載内容なので削除。</p> <p>博士後期課程では，<u>事業の構想・創出についての自立的研究能力を修得させる。</u>  [修正理由]  「プロジェクトマネージャー…養成するため」 中期目標の記載内容なので削除。</p>
6	中期 目標	<p>〔食産業学研究科〕  「食」をめぐる地域の課題や社会的ニーズに適切に対応できる知識・技術及び研究能力を持つ<u>高度に専門的な職業食産業人を養成するとともに</u>，<u>自立的な研究能力をもつ高度専門職業人や研究者・教育者を養成する。</u></p>	<p>〔食産業学研究科〕 再修正案  「食」をめぐる地域の課題や社会的ニーズに適切に対応できる広範な知識・技術及び研究能力を持つ<u>高度専門職業人を養成するとともに</u>，<u>自立的研究能力をもつ研究者・教育者を養成する。</u>  [修正理由]  「職業食産業人」という表現は一般的ではないため，「高度専門職業人」に言い換え，文言を整理。</p>

頁	大 学 修 正 案	再 修 正 案 , コ メ ン ト 等
中期 計画	<p>〔食産業学研究科〕          修士課程では、高度に専門的な食産業人や専門的な研究能力を有する者を養成するため、「食品イノベーション領域」及び「農・環境イノベーション領域」の2領域の「食品ビジネスマネジメント分野」などの5分野について、「導入科目」、「専門科目」、「総合科目」で構成される教育課程を通して高度に専門的な経営力、技術力、安全管理力、環境管理能力及び情報力等の融合による課題解決型の「イノベーション力」を修得させる。</p> <p>食産業学分野において、自立的研究能力をもつ高度専門職業人や研究者・教育者を養成するため、博士課程を新設する。</p>	<p>〔食産業学研究科〕 再修正案          修士課程では、「食品イノベーション領域」及び「農・環境イノベーション領域」の2領域の「食品ビジネスマネジメント分野」などの5分野において、「導入科目」、「専門科目」、「総合科目」で構成される教育課程を通して、高度に専門的な経営力、技術力、安全管理力、環境管理能力及び情報力等の融合による課題解決型の「イノベーション力」を修得させる。          [修正理由] 文言の整理</p> <p>修正なし。</p>